

## 文献案内

今回は中世の『太平記』の北条高時の妄想の場面を用いて導入し、王子脳病院の史料における、国家や警察などが関与した可能性がある朝鮮人の不法監禁をとりあげました。

## 日本の中世

細川涼一『逸脱の日本中世』（ちくま学芸文庫，2000）。

## 明治期の歌舞伎と月岡芳年

歌舞伎座舞台プログラム『九月大歌舞伎』（2004）。

横尾忠則『芳年--狂懐の神々』（里文出版，1989）。

菅原真弓『月岡芳年伝：幕末明治のはざまに』（中央公論美術出版，2018）。

## 20世紀における各国での精神病院の悪用

Sidney Bloch et al. 『政治と精神医学：ソヴェトの場合』（みすず書房，1983）。

Sarah Marks and Mat Savelli eds., *Psychiatry in Communist Europe* (Palgrave Macmillan, 2015)。

## 20世紀における人種と精神医学の関係

Suman Fernando, *Race and Culture in Psychiatry* (Croom Helm 1988)。

Jennifer Robertson, "Blood talks: Eugenic modernity and the creation of new Japanese," *History and Anthropology* 13(3): 2002, 191-216.

Jennifer Robertson, "Eugenics in Japan: Sanguineous Repair," in Alison Bashford and Philippa Levine eds., *The Oxford Handbook of the History of Eugenics* (Oxford University Press, 2010), 430-448.

### **治安維持法と朝鮮人について**

大日方純夫『近代日本の警察と地域社会』（筑摩書房，2000）。

姜在彦『日本による朝鮮支配の40年』（朝日新聞社，1992）。

姜在彦『朝鮮近代史』（平凡社，1998）。